

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	都城子ども療育センターひかり園		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39人	(回答者数) 28人
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 12人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子で通園できること。 集団に家族と一緒に参加することで子どもは安心して課題に取り組める。医療的ケアが必要な動けるお子さんの	基本は親子通園であるが、個別の相談で単独通園もしていること。(保護者の病気、出産、きょうだいの病気、参観日、医療的ケアが必要で保育園への入園待ちの場合など)3歳以上の子どもたちが仲間意識が育つようにグループ別の活動を週1回くむこと	単独預かりのお子様と親子通園の親子が同日、同じ場所での療育が今年の形でしたので、今後どうしたらよいか。
2	どのように子どもとかかわったらよいか不安に思っておられる親御さんが他の保護者や、職員の行動を見ることで、安心してすごせるといわれること。どうしたらよいかが見える。	3歳未満児と3歳以上の2グループに分けていることでそれぞれの課題や遊びにたっぷり取り組める。	3歳未満児の保護者と3歳以上児の保護者の交流を工夫したいと思う。
3	幼稚園・保育園・認定こども園との並行通園をすること	他の親御さんが地域の状況を知ることができる。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	親子通園なので家族の病気等でお休みすることがある		感染症などの場合は利用できないが、配慮をして単独でお預かりをしたり、送迎をすることで参加できることもある。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	都城子ども療育センターひかり園
------	-----------------

公表日 2025年 3月 31日

利用児童数 39

回収数 28

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	4				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	5	2	1	手厚く配置されている。アドバイスが欲しい時に見てもらいたい。子ども同士のトラブルの時にスタッフに入ってほしい	曜日によって参加人数が大きく差が出たのが今年でした。十分対応できなかったことは申し訳なかったです。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	3		2	適宜設備の配置を変えて子どもへの環境整備の工夫がされている。	もともと重症心身障害の方を受け入れることも想定していたので、建物としてはバリアフリーとなりますが、感覚過敏なお子様にとっては音の反響や、部屋の広さ・狭さが気になることがあるのでその工夫が必要でした。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	1			過ごしやすさはありますが、冬が寒いと感じるときがある。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	6		2	個別で専門性のある支援をもっとうけたい。子どもの成長をみてどのように接するかかの助言がもらえる。	ST、OT・音楽療法士などのプログラム上の職員の配置はできていると思います。発達相談員と保育士がしっかり連携して、療育の意図を親御様に伝えられるよう学び、楽しい遊びが提供できるように工夫いたします。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	1		1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	1			現状の問題点を的確に把握でき、成長が目に見える。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	2				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	3		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	5	3	1	午後の年齢別は工夫されているが、日々の活動にリズム・サーキットを増やして。外遊びが多くてよい。	
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	2	7	5	並行通園なので交流は日常的にできる。園全体としての交流の機会はなかった。	今年は3歳未満児のクラスで交流保育実施。交流先の園の受け入れ可能な点を聞きながら交流した。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	2		2	貴重なお話が聞けるので、毎回楽しみにしている。定期的に講演会が行われていて多く参加し、発見や知識が得られた。	公開の講演会だけでなく、クローズのピアカウンセリングの場も日々とれるように時間を設けています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	1			先生方と一緒に、課題解決をしています。家での様子も相談にのってもらえ、助言もらえる。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	2			日々、サポートしてもらえ。定期的な面談だけでなく、困りごとがあるときは都度丁寧に対応してもらえ。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	3	1	2	保護者同士で情報交換ができるので助かっている。家族で困りごとがあっても、きょうだいに対しての柔軟なサポートもあり救われている。	開園以来40年親の会活動を継続しています。「できるときにできることをできる人で」の気持ちで無理のない活動を続けています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1	1		何時も迅速に対応してもらえ。	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	2		1		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	6	1	4	わかりやすく発信してもらえる。ホームページに自己評価の結果が例年掲載されており確認している。	毎月の予定は月報として配布。園との連絡はLINEを使ってやり取りすることも多くなりました。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	5			留意されていると思いました。療育という言葉は浸透していて、他機関との情報共有について注意してほしい時がある。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26		1	1	されていると思います。	丁寧に全保護者にお伝えすることは難しいが、次年度は学習会等で説明を試みてゆきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27			1	定期的に行われている。	毎月実施するが、参加できる方できない方がおられることは気になっている。今後の課題である。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26		1	1	単独で預かってもらったときに、簡潔・的確に何があったか伝えてもらった。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	1		2		小さな怪我でも保護者と確認し、看護師が対応している。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28				笑顔で通っている。	並行通園先への送迎について希望が出ていること、児童発達支援の事業所の複数利用についての希望が出ている。並行通園が多いのでこれ以上子ども集団から抜けることを増やすことはこどもの気持ちや園の生活としてどうなのかが課題です。専門職への利用希望が出ていることも課題として受け止めています。。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28				並行通園をしているが、ひかり園に行く日を楽しみにしていて、楽しく通えている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	4			母子ともに心の支えになっている。子どもの行動だけでなく、親の心配もしてくださる。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		都城子ども療育センターひかり園		公表日		2025年 3 月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	1		グループや個別対応など子どもにとっての必要な支援をするときの職員の配置の工夫	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	2		業務改善のため毎日集うようにしているが、全員参加は工夫が必要 プランを資料として提示する準備の確保の工夫	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1		職員の意見を出し合う時間は毎日設けているが、このことを記録で残すことが十分にできるよう工夫が必要。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	4		例年取り組みを考えているが、なかなか実行できないている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	3		発達検査を実施したり、他機関で実施した評価を活かすようにしている。園では新版K式発達検査とWISKを使用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	1		ほぼ毎日必ず打ち合わせをしている。全職員の共有を務めているが全員の共有は工夫が必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	1		業務中での記録のあり方を工夫した医と考えている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10	2		全国組織や県内の組織に加入して連携や学びを進めているが、地域全体の質の向上へとつながる工夫が必要
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	12			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	12			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	3		コロナ禍で多くの地域参加の行事が休止して以来なかなか復活していないので、今後復活するとしたらどのような形がよいか今の課題
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	2		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	3		職員全員への周知の方法を次年度は課題
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	2		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	4		これまでしていた安全に対する配慮や取り組みを作成した安全計画に落とし込み職員で共有したい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	2		今年はオリエンテーションがすんでから安全計画をたてたので、次年度は4月のオリエンテーションで周知したい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12			